



関西学院大学リポジトリ

Kwansei Gakuin University Repository

2018年度活動報告 留学生Week

著者	長谷川 哲子
雑誌名	関西学院大学日本語教育センター紀要
号	8
ページ	106-106
発行年	2019-03
URL	http://hdl.handle.net/10236/00028138

2018 年度活動報告 留学生 Week

長谷川 哲子（関西学院大学経済学部）

1. 概要

留学生 Week は、毎年 6 月に開催されている。学部留学生および交換学生の日本語学習成果の発表、および、留学生と日本人学生との交流を目的としたイベントである。2007 年度より日本語教育センターおよび国際教育・協力センターが主催する各種行事を開催しているが、2018 年度は日本語教育センター主催の行事として、スピーチ発表会を開催した。

2. スピーチ発表会

2018 年 6 月 15 日（金）に中央講堂にて開催した。スピーチ発表者として、学部留学生 16 名、交換学生 18 名が登壇した。今年度は学部留学生として総合政策学部からの参加があった。スピーチの内容は、学生が日本で体験したことや印象深かったことを紹介するもの、留学してきた動機をふりかえるもの、また自らの経験から得たメッセージを主張するものなど多岐にわたった。発表テーマについて自分なりのことばを紡ぎながら語られたスピーチは、いずれも聞き応えのあるものとなった。

3. 成果と今後の課題

毎年発表者数が微増しており各自の発表時間は非常に限られているが、中央講堂のような大きな舞台でスピーチ発表を行った学生にとっては、留学生活の中で忘れがたい経験を得たことと思う。また、学部留学生、交換学生それぞれにとって、相互の学習成果に接する良い機会となっていた。

一方で、開催目的の一つである、留学生と日本人学生の交流という点では、留学生以外の聴衆参加がまだまだ望まれるところである。スピーチ発表会は例年授業時間内で実施しており、同時間帯に授業を履修している学生は参加が難しい。今後は、スピーチ発表会に限らず、留学生と日本人学生相互の交流活動を促すために、学生が参加しやすい形態での行事開催を検討する必要がある。